

ITビジネスモデル委員会報告

2018年度 2月

人工知能を使った画像認識
～人と違う特殊能力をビジネスに活かす～

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

コンサルティングサービスセンター

講師 執行役員 井上 幸則 氏

主事 中尾 雅俊 氏

感想1

- 前半のツアーでは様々な生活や、スポーツの現場における将来的な取り組みが、考えていた以上に進んでいると感じワクワクできました。AIセミナーは具体的な案件事例を聞くことでAIの価値や得意とする領域がイメージできました。まだまだ固有案件ですがビジネスにつながっている素晴らしい活動と感じました。我々はパッケージメーカーである為、まだまだAI活用は手探り感ですが実ビジネスとなっていることを知る事でスピードアップしてゆくべきと思いました。
- AI導入の際に、いきなりAIではなく、IoT→BI→AIとフェーズ分けして提案しているというお話でしたが、あたりまえの話ではありますが、あまり意識していない部分でした。AIの特性を理解して適用しないと、期待した成果が出ないというお話も興味深かったです。

感想2

- リアルに具現化された展示が見学できて参考になりました。特に無電柱化にビジネスの展望があると感じました。
- 前半の未来の生活を感じさせるケース提案は、これからの暮らしの変化についてワクワクさせて頂きました。特にスポーツ部分のスマートスタジアム化のケースについては既
に実証実験も行われておりましたので、そちらで判った課題についても知りたいです。後半部のセミナーではAI自体にも特色があり、そちらに合わせた導入が必要であることについて、例を示してご説明いただいたのでイメージしやすくわかり易かった。
- 自社で経験された内容からAI導入の注意点、ポイントとなることを説明頂けて良かった。もう少し具体的な失敗事例（行程、時間軸など）を知りたかった。

感想3

- 見学コースではコンテンツが重要でありネックと感じた。家庭の電力や通信も同じと考える。電気メーカーなので仕方ないと思う。AIに関しては、やはり正直に近づけるためのデータの選定とチューニングが重要で、時間がかかる部分であるが、今までのセミナーと同様だと分かった。そのノウハウを早くためた企業が強いと感じた。
- 見学会での近未来ソリューションはパナソニックの思いがかなり盛り込まれていて楽しかった。AIに関する導入事例（特に新明和）は大変わかり易かった。
- 近未来の住空間、生活空間を体験出来て、便利ではあるが何とも言えない気分になった。人間の判断力を補完する以上のものは、人間を退化させることにならないだろうか。

編集後記

Wonder Life-BOXでは2020年～2030年のより良い暮らしをひと足先に体験させていただいた。

続くセミナーでは、人工知能を使った画像認識に関して

1. ディープラーニングの画像認識
2. AIの凄さ、ヒトの凄さ
3. AIの潜在能力
4. AIをビジネスに活かす
5. Panasonicの画像認識

についてご説明いただいた。

Wonder Life-BOX見学を通して近未来の提案にはワクワク(驚きと感動)セミナーは、AI案件の取組に関して、事例を交えて大変解りやすくご説明いただいたのが印象的でした。

下記URLから今回のプレゼン内容がダウンロード出来ます(会員限定)

<http://www.jcssa.or.jp/memberJCSSA/dl2.php>